

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220713	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	初期地球進化解読	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	小宮 剛（東京大学・大学院総合文化研究科・准教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、研究代表者らが独自に開発してきた地質学的手法と地球化学的手法を結合させることにより、冥王代（地球誕生後5億年間）の固体地球と表層環境の進化を解読することを目的としている。先カンブリア紀の物質が分布する地域から冥王代の試料を探索する野外調査と、同位体分析法の開発については、着実に成果を上げている。しかし、これらを応用した目立った成果が隕石の分析に基づいたものであり、冥王代の進化解読への貢献が当初の計画に比べやや遅れている。また、研究代表者と研究分担者の共著論文や学会発表が少ないことから、今後は研究者間の有機的連携を強め、本研究で設定している7つのテーマ毎にミニマムサクセスを設定し、そのゴールに向けた努力が必要である。</p>		